



看護宣誓式

ナイチンゲールの看護の心をキャンドルの灯火を通して受け取り、志を新たに、看護への道を歩む決意をこめた「誓いの言葉」を宣誓します。



看護の道を 目指しませんか!!

看護職は、保健・医療・福祉の分野全般で人々のからだや心、社会生活をサポートする専門職です。このやりがいのある素敵な仕事にチャレンジしてみませんか?



第4回「忘れられない看護エピソード」 最優秀賞受賞（主催：日本看護協会）

「背中をポンポン」

河上 知子さん（広島県）

夕食後、息子は「お母さん、しんどい」と言ってきた。振り向くと、横になった息子の体が、ゆっくりと反っていった。次には全身がガクガクと動いた。ひきつけを起こしたのだ。病院へ着くまで、そして治療が終わるまで、7回もひきつけた。処置室から出てきた息子は、穏やかな寝顔に戻っていたが、そのまま入院することになった。

翌朝、目覚めた息子は、一変した姿を見せた。日焼けした顔や転んで擦りむいた膝の傷は、昨日の息子と変わらなかった。しかし、私と目を合やすこともなく、言葉も失って、ただベッドに横たわっていた。声を掛けても、頭や手足を動かすだけだ。私たちは異質な世界へ放り込まれたのではないかと、目の前の状況を疑った。

医師は夫と話していたが「大変だ」とつぶやいて病室を去った。その言葉が、私の涙腺のふたを外した。そこから何日泣き続けたらう。点滴を受け続けている息子の頭をなで、手をさすり、食事の介助をし、泣き続けた。泣いても泣いても心が軽くなることもなく、涙が枯れることもなかった。食べなくては駄目だと夫に言われて、買ってきてくれた巻きずしを泣きながら口に入れた。

その時の私へ声を掛ける人はいなかった。声を掛けることができなかったのだと思う。ところが、私の背中をポンポンとたたく人がいた。40歳前後の看護師だった。血圧の測定をして、ポンポン。点滴液を交換して、ポンポン。検温に来て、ポンポン。このポンポンが、いつの間にか優しい励ましの言葉に聞こえていた。反対に、「あなたは母親よ。しっかりしなさい」と叱咤の言葉にも聞こえ、少しずつ心を落ち着かせることができた。

あれから32年。36歳になった息子は、元気に障害者施設へ通っている。振り返れば、今まであの看護師のポンポンを何度も背中に呼び戻して生きてきたように思う。



坂本 すが先生（東京医療保健大学 副学長）

和歌山県出身。昭和47年和歌山県立高等看護学校保健助産学部卒業。関東通信病院（現・NTT東日本関東病院）産婦人科病棟棟長などを経て、平成9年～平成18年看護部長を務める。平成18年東京医療保健大学看護学科学科長・教授就任。平成23年6月～平成29年6月、公益社団法人日本看護協会会長。平成29年6月より現職。



和歌山県田辺市龍神村出身の坂本すがです。県下で助産師となり、和歌山と東京の病院で働いた後、なぜか日本看護協会の会長に就任、任期を終え現在は東京医療保健大学看護学科の教員をしています。

コロナ禍の中で、今、全国の看護職たちは頑張っています。大変な状況ですが、教え子である看護師の1人は、「経験したことがない危機に対応するためには、人に頼る前にまず自分で考え行動を起こす力が必要」と笑顔で話していました。心折れそうな状況にも“へこたれない”看護が実践されているようで本当に頼もしく感じました。

ではなぜ、何が、看護職を動かすのでしょうか。ナイチンゲールは、「自分自身は決して感じたことのない他人の感情のただなかへ自己を投入する能力がこれほど求められる職業はない」と述べています（『看護覚え書』の補章）。

この能力を養うためには、患者さんの痛み、つらさ、苦しさをわかってもらうことが第一歩です。さらに乗り越える方法を共に考え、患者さんからも頼りにされる存在でなければなりません。新型コロナウイルス感染症にかかった患者さんたちが

らも、看護師に勇気づけられ励まされたという声が聞かれています。

そこで、看護職を目指す皆さんにぜひ心掛けてほしいことがあります。

- 1 つめは、自分で考えるくせをつけること
- 2 つめは、人の痛みをわかってもらうこと
- 3 つめは、頼られる人になること

以上の3つが私からの提案です。今後、住み慣れた地域や自宅で療養したいというニーズが増える中、看護職の働く場所は病院に限らずますます多様になります。皆さんはどこでどんな看護がしたいですか？一度、胸に手を当てて考えてみてください。まだはっきり見えなくても、これから先、皆さんの可能性は無限大です。

さあ、前に進もう。

たくさん失敗もするだろうけど、へこたれず、人と人の関わりを通して成長し学び続ける看護職になってほしいと思います。

Good Luck!

和歌山県福祉保健部健康局医務課

〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地
電話 073-441-2605（直通）



～看護学生のキャンパスライフ～



私は看護学校に入学し、同じ目標を持った仲間に出会い、共に励まし合い、成長することができています。勉強や課題で何度も行き詰まったときもありましたが、それを仲間同士助け合いながら対処できる力が身につきました。また実習中、患者さんの細かな変化に気づけたとき、また患者さんに感謝されたときなどやりがいを感じることもでき、更に看護師になりたいという気持ちが強くなりました。皆さんもぜひ私たちと一緒に看護師を目指しませんか。

R.M

看護学生は、学ぶことが多くとても大変ですが、看護師になるという目標に向かって日々仲間と切磋琢磨し頑張っています。

入学前の私は、人前で意見を発表することが苦手でした。しかし、看護学校では授業の中でグループワークが多く、人前で意見を発表する機会が増えました。今では、皆と意見を出し合い、その時々に応じた解決策を考えられるようになりました。看護学校は、自分の苦手なところを克服でき、新たな自分を発見できる場所でもあります。

皆さん、私たちと一緒に頑張りましょう。応援しています。

A.K

私は元々、人前で意見を発表したり、人に意見を伝えたりすることが苦手でした。

しかし、大学に入学後、グループ学習や実習を通して、意見を伝える力やコミュニケーション能力を培うことができました。自分のなりたい看護師像に近づき、人としても成長していくために、大学に入学して、私たちと一緒に看護師を目指してみませんか。 O.A

看護学生からのメッセージ



私は小学生の頃から看護師になるのが夢でした。私が看護学校に入学して良かったと思うことは、同じ夢を持つ仲間とたくさん出会えたことです。また、実習のとき、自分がおこなったケアで患者さんが喜んでくれることにとってもやりがいを感じます。大変なことは多くありますが、みんなで助け合いながら頑張っ乗り越えています。

一緒に頑張りましょう！ S.I

看護師からのメッセージ

紀南病院

看護師 高垣 幸三

看護師は、患者さんの病気だけではなく心に寄り添えることができ、自分自身も人として成長させてくれます。また、看護師は国家試験合格がゴールではなく、生涯を通して学習・成長し続けられる、とてもやりがいと自信がもてる魅力ある職業だと思います。現在は、看護師としての働き方も多様になってきています。ぜひ看護師を目指してみませんか？

日本赤十字社和歌山医療センター

看護部 大山 愛

看護師の魅力は、多様な社会で「自分の道」を目指し成長しながら働き続けられるところだと思います。自分自身が成長することで患者さんを笑顔にすることができ、看護師にしか味わえない楽しさややりがいを感じることができます。大変な仕事ですが、いかなる状況下にも立ち向かえる力を持ち、逞しさと温かさをもつ素晴らしい職業だと感じています。



授業編 1年生のある1日・1週間のスケジュール

6:00	起床・準備
8:00	出発
8:30	登校・掃除
9:00	授業
12:10	昼食
13:10	授業
16:20	放課後 帰宅
17:00	自由時間
18:30	夕食・入浴
	自由時間
20:30	予習・復習・課題
23:00	自由時間
24:00	就寝

	1限	2限	3限	4限
月曜日	テスト／自己学習	地域と暮らし	診療補助技術Ⅰ	基礎看護学実習Ⅰ-2 オリエンテーション
火曜日	論理的思考／テスト	心理学	共通基本技術Ⅱ	臨床看護総論
水曜日	病理学各論Ⅳ 精神	情報科学Ⅱ	疾病・回復論Ⅰ 薬理学	病理学各論Ⅱ 食と代謝排泄
木曜日	社会学	病理学各論Ⅳ 内分泌	生活援助技術Ⅱ 全身清拭技術試験	
金曜日	テスト／自己学習	倫理学	バイタルサイン 測定技術練習	栄養と代謝

コメント

- ・高校までとは違い専門的な内容が多く、実習などで学習した知識が役立つとても嬉しく感じます。
- ・実習の時には慣れない記録物が多く睡眠時間が短くなることもありますが、終わった時は達成感に溢れています。
- ・日々の授業や演習は、友達と協力して教え合ったり助け合ったりすることで乗り越えています。
- ・しなければならないことがたくさんあり、隙間時間の有効活用や計画して行動できるようになります。
- ・グループワークが多いため、周りの意見を取り入れて、幅広い視点を持つことができます。



実習編 M.Kさんのある1日・1週間のスケジュール

6:00	起床・朝食・準備
8:00	実習施設到着
9:00	実習開始
	申し送り・バイタルサイン測定・報告
10:00	受け持ち患者とコミュニケーション
	全身清拭・洗髪など
11:30	午前の実習内容を学生指導者に報告
12:00	昼休憩
13:00	実習再開
14:00	受け持ち患者とコミュニケーション・看護ケア
15:00	学生カンファレンス
15:30	振り返り・看護記録
16:00	実習終了
17:30	帰宅
18:00	一日の記録
19:00	夕食
20:00	実習に関する学習
22:00	明日の準備・国家試験に関する学習
23:00	就寝

一週間のスケジュール

月曜日	・オリエンテーション、受け持ち患者さんの情報収集 ・バイタルサイン測定
火曜日	・日常生活援助 ・病態の理解（関連図等）
水曜日	・日常生活援助 ・患者さんのアセスメントを行う
木曜日	・アセスメントより看護問題を明確にする ・看護計画を立案する
金曜日	・看護計画に基づいた援助を実施する ・実施した援助を振り返り、評価する



コメント

- ・患者さんの力になれた場面では、自分の成長ややりがいを感じ、充実した日々を送ることができます。
- ・実習での経験や学習が、知識・看護技術の向上、国家試験にむけた学習につながります。
- ・すきま時間を活用するなど、効果的に時間を使う力が身に付きます。
- ・悩んだりすることもありますが一緒に考え、寄り添ってくれる先生方がいます。
- ・楽しいこと、大変なことを共に経験し、高めあえる仲間に出会うことができます。